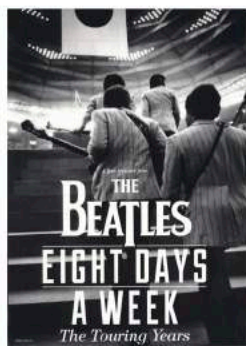


突然ビートルズマニアな一日



ビートルズが軽々とやってのけた奇跡。そして何よりその演奏力の確かさ。ライブ演奏から離れていく彼等の気持ちは、痛いほど分かるのだ。

となれば日本公演の時の宿、キャピタル東急(当時の東京ヒルトン)で、彼等も食したというプリンを食べねはなるまい。懐かしい器に入って供されるのは、山型というより円筒に近い、しっかりとした食感の古典的フディング。来日から半世紀経ち、当たり前のスイーツすら懐かしくなった東京の今…。

ト・アリス・ア・ウィーク」は、予想に反して結構新鮮な気持ちになれる作品なんだ。

様々な国の公演映像を、本人たちを含む関係者のインタビューで繋いだ本作。ウィビー・ゴールドバークやシカゴ・ウィーバーが、まるで昨日見たかの如く語る、若き日のライブ体験の衝撃。公民権運動と人種差別がオースの如く渦巻くアメリカ南部の町で、



高野金次郎商店

親切第一 平成28年9~10月号

版元:東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大家2-26-2
fax:03-3917-1949 RXM04421@nifty.com

協力:高島平電腦研究所、築地河岸工房
関連ウェブ:各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索すると関連ウェブに辿り着けます。http://jpg.arrow.jp/

勝手にお気に入り5

上野駅で個人的に見逃せないベスト5

- ・実はモダンな外観
- ・中央改札、猪熊弦一郎の壁画とガラスの天井
- ・駅弁屋で買える国技館焼き鳥とエキナカ崎陽軒のシウマイ弁当
- ・元浅草口の手寄せ意匠
- ・曜日限定のもので買えるペリカンのパン

銀の輔銀座千枚

いやあもう生涯来ないんじゃないかとガツカリしてたけど、ちゃんとやって来たなあ、秋め！銀座はね、またやたら暑い頃から秋だったな。そんな服装したらアセモだらけになっちゃうよって思ってたけど、ファッションは先取りなんですよ？ しかも銀座のもの、超特急で先取っちゃつ。



でもね、もう大丈夫。ショーウィンドウが秋でも冬でも冷静に見物出来る季節になったから。

春はいち早く桜が咲く木村屋は、もう紅葉真っ盛り。そういうやパンを詰める樹脂の箱も、秋っぽい色合いだったね。栗やら芋やらの期間限定パンが並ぶんだ。それはフルーツタルトのキルフェボンも同じ。窓越しに紅葉を眺める暖炉、優雅なシヨウウィンドウが、歩く人を立ち止まらせる。

銀座通りには大きな街路樹がない。クリスマスツリーみたいなイチイの木はあるけど、紅葉しないしさ。だからその分、沿道のお店が季節を演出するんだね。町行く人は夏と秋が混ざってるけど、町はシックな季節を告げている。そして僕のお腹も鳴っている。おやつの時間さ。





高級句誌
俳人同様
Haijin Doyo
三朝庵梅里・筆
SAN CHO AN BAI RI

四方八方商店街、飲み屋の数
なら敵は無し、小岩薄いわやっ
ぱり濃いわ、駅で迎える栃踊、
昭和のヒーロー銅像で、行
くは昭和通り商店街、見上げる
ような建物は、皆無の広い空続
き、空き地を塞ぐ鉄扉にも、昔
の絵本さながらな、少年少女の
絵が描かれ、ほったらかしの看
板はカメラ屋スナック元店子、

ラジオ商会グッと来て、三桁局
番多数あり、懐かし瞬間湯沸器、
定休日なのか閉店か、分からぬ
シャッターをここに、脇道細
道斜め道、交差点さえ鋭角で、
末広がりか未縮まり、薄暗がり
な店構え、店一杯の満艦飾、パ
ワー様々洋品店、カタカタ音も
下町風な、町工場まで肩並べ、
路地を覗けば植木が並ぶ、お馴

染み風景広がって、早くも飲みに突
入か、魅惑昼酒振り払い、ホッピーハ
ウスも目をつぶり、横丁入れれば水天
宮、神は細部に宿るとか、玉垣刻む昭
和会、踵を返す商店街、鍋釜積み上げ
金物屋、鯉節と結納品、一緒に商う理
由とは？通りを抜けた友の湯で、一
風呂浴びてジオラマ眺め、ゆるり考
え思案中、土産はふわふわマドレー
又、こいわ思案の外とやら…。

思い出もにじむ昭和の曇り空 梅里



見覚えの有る無しの前に懐かしき



幾年月ぶら下がり健康ギター



正式名あっても三角公園か…

昭和通りの旅



細道の奥の奥まで見守りて

日を浴びて眩しそうな夜の服



編外番口北

東京大塚カウンター異聞
K'sバーの人々

「「は、何屋さんなんですか？」白い前掛けをしたオジサンが、フラーリと店に入ってきた。「ペンギングッズと古本を売るガラス屋です」と答えると、「なるほどね」と言っ

て狭い店内を見渡し、「名刺ありますか？」

「伊勢元」が引越しますね、「えっ、ああそうですねえ」、「あすこのくつべら、美味しいですよね」、「旨いです！でも頼むたびに、くつべらって何でしたっけ？ってご主人に聞いちゃうんです」「フッフ、喉の軟骨ですよ、歯応えがたまりませんね」、「でも暫く食べられなくなりまし

ね、「引越しをして、再開は十一月と聞きましたけど」、「今使ってるカウンターを、そのまま新しいお店にも使っ

で、時間がかかるそうです、「引越し先は折戸通りの斜め前だから、どのみち近所で、」でもきつとまた、くつべら何ですか？って聞くと、「はい、」

「アハハハ、実はアタシも何度も聞いたんですよ」

初対面の人が、いきなり僕が好きなの話の始めたので驚いた。でもうちは何故か、買物に来る人より喋りに来る人が多い。こっちは楽しいから、つい話し込んでしまっ、

「商人失格なんだけど。この人もきつとご近所さんなんだろな、第一、前掛けを着けてるもの。」

でも、自分のことをアタシって言うオジサンは、久しぶりだった。きつと下町の人だ。うちの親父がそだった。兄弟揃ってアタシで、友達はみんなちゃん付け。七十超えたい年の大人が、シゲちゃんだのシヨウちゃんだのと、子供みたいに呼び合う。でもこっちはいい年になってくる

と、アタシだの〇〇ちゃんだのが、妙に羨ましく思えてくるから不思議だ。

「でも「伊勢元」って言えばハイボールでしょ？、今度は僕が先に尋ねると、「らしいです。アタシは飲めないものだから」、「飲まずに伊勢元ですか？、「まあね、飲み助を連れて行きますんで、それで勘弁して貰って」とはにかむオジサンに、思わず吹き出してしまった。

「そう笑いなさんな。じゃ、おいとましますかな。アナタ、イケる口みたいですから、今度こそ一緒にしましょう。アタシが行きたい店は、飲み屋ばかりでしてね。それに、折角ならゆつくりしたいと思っても、食べる一方じゃ尻もできやしませんし」って、あのねオジサン、あなたは今、何も買わずに僕の店で長居してまっすけど、という僕の心が読まれたのか、「お邪魔様、また来ますよ」

ニコッと笑って前掛けオジサンは、都電の線路伝いに鶯鶯新田方向に歩いて行った。その後ろ姿を見て、初めてオ

ジサンがパトリックのスニーカーを履いてることに気が付いた。洗いざらしの白いシャツにジーンズかあ、なんだかお洒落なジジイじゃないか……

「ジジイ？……僕にはオジサンにしか見えないけど、女子高生が見りゃジジイだよなあ。しかも前掛け、きつと何かの店をやってるに違いない。こないだ聞いた「ジジイの店」という言葉が、僕の頭の中に急速浮上した。いっそ後をつけてみるか？ オジサンは突き当りを右に曲がって、大塚美容外科の坂道を登って行った。ふん折戸通りか。

まあいいや、そのうちまた来るよ。話したそうだったもん。それにしても、「伊勢元」が引越し、漫才の金魚さんや奇術師の世津子さんが来てたお隣のスナック「ララブル」

は閉店、蕎麦屋「みます」も店をたたんだ。何でもここに大きなマンションが出来るとい話を聞いた。「暇不動産」がある手前の交差点にあった古いビルも、いつの間にか更地になり、鉄扉で囲まれた工事現場に変身している。

折戸通りは変わるなあ。というが大塚の街が変わってるんだ、凄いスピードで。おかし、ここは山手線沿線の永遠の穴場だったはずだ。都内屈指のターミナル駅池袋と、とげ抜き地蔵で名を馳せた鶯鶯の間に挟まって、ただの飲み屋の街であり続けるはずだったのにな……

ほんやりしてたら電話が鳴った。「あ、もしもし、先程伺った者ですが……」

早過ぎるぞオジサン！

強くなる一方、常に愛や信頼を生涯渴望してたのです。純粋でキュートなジャンニスの愛おしいこと！★配布協力感謝・千駄木・古書ほうろう、吉祥寺・ブックスルーエ、雑司ヶ谷・旅猫雑貨店、法善寺横丁・洋酒の店路、築地・ふげん社。淺草・珈琲アロマ。

編集後記のようなもの

ジャンニス・シヨプリンのドキュメンタリー映画を見ました。圧倒的な歌唱力&表現力、ドラッグで矢逆した人生という固定観念が、見事に覆されます。いわれなき虐めと屈辱の少女時代が、彼女を